

小規模事業者 I C T 導入促進支援事業の事後調査（アンケート）の結果報告

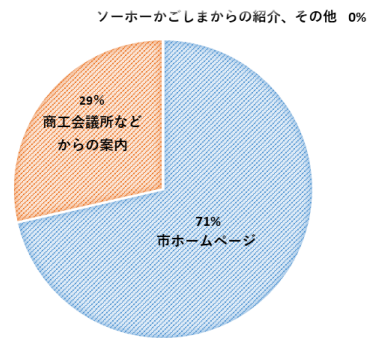
1. 調査概要

- ・実施時期 令和 6 年 8 月
- ・対象 令和 5 年度小規模事業者 I C T 導入促進支援事業補助金を活用した 7 事業者
※ステップ 2 申請事業者
- ・調査手段 アンケートをメール送信
- ・回答率 1 0 0 %

2. 調査結果

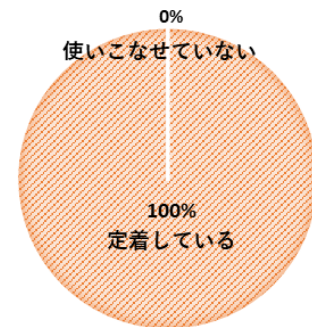
①本事業を知ったきっかけ

市ホームページが全体の 71%（5 事業者）と一番多く、続いて商工会議所などからの案内が 29%（2 事業者）であった。



②導入した I C T ツールが定着しているか

7 事業者全てが使いこなせていると回答した。
（I C T ツール導入前と導入後の業務効率の変化については③を参照）



③ I C T ツールを導入したことにより業務効率は変化したか（向上率）

※ $\text{向上率（\%）} = \frac{\text{①導入前（人数} \times \text{時間）} - \text{②導入後（人数} \times \text{時間）}}{\text{①}} \times 100$

50%以上向上した事業者が全体の 71%（5 事業者）、
1～49%向上した事業者が 29%（2 事業者）であった。

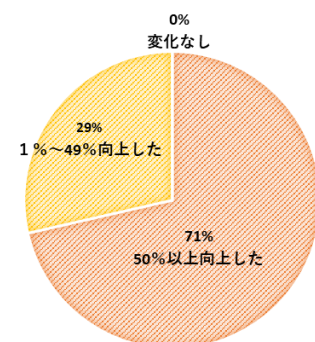
I C T ツールを導入したことで 100%の事業者が業務効率を図れたことがわかった

【向上率最高値】 92.3%

導入前：1 人×130 時間＝130 導入後：1 人×10 時間＝10

【向上率最低値】 33.3%

導入前：1 人×6 時間＝6 導入後：1 人×4 時間＝4



④具体的にどのように業務効率化したか（一部抜粋）

- ・勤怠管理システムを導入したことにより、給与計算及び現場ごとの労務費計算のもとになる振分等が格段に効率化され、それに費やす時間も短縮された。
- ・会計ソフトを導入したことによって、日々の収支が自動化されるものが多く、チェック作業にプラス

して少し手入力するだけになった。また領収書の管理が全て写真撮影、クラウド保存になったため、物理的な空間の余裕にも繋がった。

- ・クラウドサービスとタブレットを導入したことで、営業の際、紙のカatalogを大量に持ち運ぶ必要がなくなった。また、お客様を訪問した際、紙を使わずにその場でタブレットを用いてやりとりができるようになった。
- ・POSレジ導入により、会計処理の正確性（計算間違いが無くなった）、効率（2人作業が1人でも可能になった）、締め作業の簡素化が図れた。在庫管理も即座に可視化できている。

⑤業務効率化により新たにできるようになったこと（一部抜粋）

- ・業務の準備時間が短縮できたので、技術向上の勉強時間にあてることができた。時間短縮できたことで、お客様とのコミュニケーションの時間も取れるようになった。
- ・経理に充てていた時間を、SNS更新や新商品開発の準備に使えるようになった。
- ・休憩時間が取りやすくなった。
- ・取引銀行口座と連動しているため、領収書等をタブレット端末で写真に撮るだけで即座に残高照会ができるようになった。

⑥今後、さらにICTを活用した生産性向上に取り組む計画があるか ⑦その内容

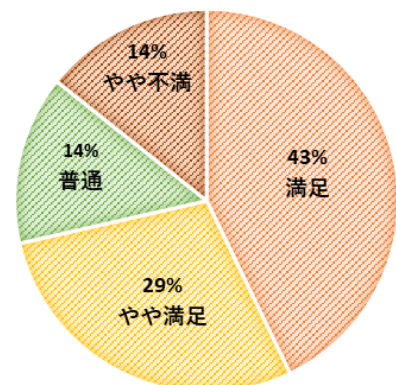
全体の86%（6事業者）が今のところなし、14%（1事業者）があると回答し、手作業で行っている商品計量・封入作業を効率化したいと考えていることがわかった。

⑧本事業の満足度

全体の43%の事業者（3事業者）は満足と回答し、29%の事業者（2事業者）は「業務の効率化ができていいる」等の理由からやや満足、14%（1事業者）は、「補助金活用により経費負担を軽くできた一方、資料作成や専門家派遣に予想以上に時間がかかった」という理由から、普通との回答であった。

残りの14%（1事業者）は、「専門家派遣において専門家とのやり取りがスムーズにできなかった」との理由から、やや不満との回答であった。

72%の事業者が概ね満足していることがわかった。



⑨導入事例掲載の同意（省略）

⑩事業の意見・感想（一部抜粋）

- ・国のIT導入補助金より、使えるサービスの自由度が高かったため、その点がよかった。
- ・長期間に渡り、親身に対応いただきありがたかった。必須のシステムをこのような形で導入することができ、とてもありがたく思っている。
- ・専門家との相性に不満が残った。
- ・ICTツール導入により事務処理が早くなりとても助かった。